

CONTENTS

01 ふる里 ゆらり旅【高志編】
数々の歴史遺産が残る城下町

04 味だね、福井人
反発心で飛び出した故郷
今では活力の源



07 走る、昭和。
県民総力で取り組んだ
福井国体・開会式

08 英・よくい
清流に花開いた幻の花「アサザ」

10 風変わりポイント
日本一のお米
コシヒカリのふるさと・福井



12 カメラアイ

14 よくい祭り紀行
人形がまとう見事な菊模様
「たけふ菊人形」



16 福井のブランド ー自然と食を育む文化ー
最高品質の国産和牛「若狭牛」

17 みんなの声

Front Cover



「越前漆器」

越前漆器の歴史は約1500年前にさかのぼるといわれています。当地越前国に居られた天武天皇（後の聖武天皇）の御代、片山山崎（現在の越前市片山町）の漆師が漆で器を造り、越前町の各地に上したところ、王子がその見事な品物に驚き、片山山崎で漆器づくりを行おうと奨励したのが始まりと伝えられています。

江戸時代になると京都や奈良から漆師・漆工の移住が行われ、明治中期には漆などの産物も作られるようになりました。生産エリアも河内田地区全体に広がり、全国でも漆器の産地として知られるようになりました。国の伝統工芸品にも指定されている越前漆器。表下は本工芸品の漆器を手に、黒漆の下地づくりと美しい色合いには定評があります。